

脳科学先端研究拠点の設備整備

平成21年度補正予算 20億円

ノーベル賞の研究成果を
発展させた最先端技術
(世界をリード)

蛍光タンパク質による
イメージング技術



宮脇敦史博士

+

個別の神経回路機能を制御
する技術



利根川進博士

回路機能の不全は学習障害、うつ病、不安障害等の原因とされる

「神経回路機能」
の解明で
国際競争を制す

今後10年で最も重要なテーマ

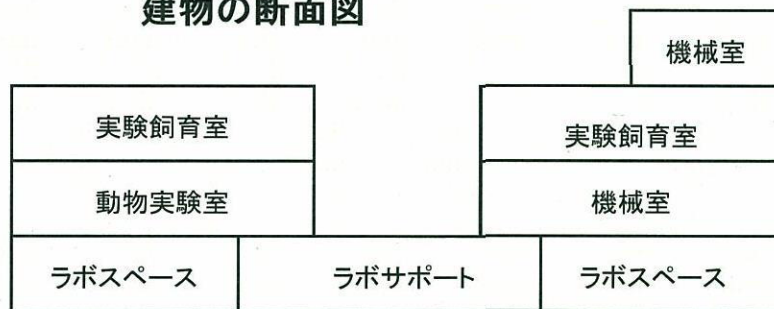
4F: 機械室

3F: 動物飼育室

2F: 動物実験室、機械室

1F: ラボスペース、サポサポート、共用会議室

建物の断面図



建築面積 : 2,500㎡
規模 : 地上3+機械室 建て
構造 : SRC造
※マウス2万3千ケージ、
ラット3千ケージを収容。

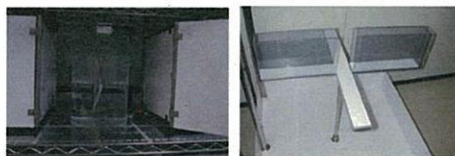
研究に必要な設備

マウス用飼育設備(ラック、ケージ)
ラット用飼育設備(ラック、ケージ)
自動給水設備(配管資材、飲水作成装置)
洗浄用設備(ケージウォッシャー、オートクレーブ、
自動化設備、
施設総合監視システム) 等



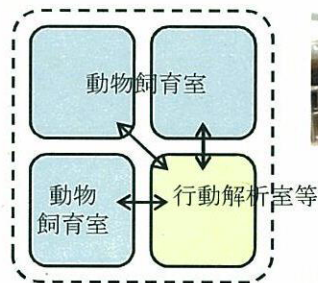
▲和光本所・和光研究所

建設予定地: 正門横残土置き場



強制的水泳試験 高架式迷路
(好まない環境でどのように行動するかの実験)

不安やうつ行動の行動解析の例



生化学的な実験室の例